



# カムくん通信



ホームページ↓

美々津小学校だより

9月号①

令和7年9月12日

文責：校長 小野原

笑顔 協力 思いやり みんなが楽しい美々津小

## 結団式を行いました！

昨日は、結団式を行い、団色が決定しました。赤団、白団の団長の意気込みをお伝えします。

＜赤団団長 高木 秋菜さん＞

みんなで協力してW優勝したい。小学校最後の運動会だからいい思い出を作りたい。

＜白団団長 内藤 璃子さん＞

みんなが楽しめる運動会にしたい。そのために、みんなで協力し合ったり、励ましの言葉を掛け合ったりできる団にしたい。

副団長は、赤団：黒木禪さん、白団：黒木公介さんです。しっかり団長を支えてください。

今後も子どもさんのことで気になることがあるときには、いつでも遠慮なくお知らせください。



## 10月の主な行事予定

1日（水） 全校集会

3日（金） 運動会予行練習①

7日（火） 修学旅行行事前学習会（6年：寺迫小ど）

8日（水） 運動会予行練習②

9日（木） 就学時健診

11日（土） 運動会前日準備

12日（日） 秋季大運動会

22日（水） 読書集会

24日（金） 秋の遠足

（1～4年：寺迫小ど）

23日～24日 むかばき宿泊学習

29日（水） ひまわりフェスティバルリハーサル

30日～31日 修学旅行

## 雑誌の記事から

「大人の視点、子供の視点」

家族でファミレスへ食事に出かけた時のことです。各々の料理の注文をして待っていると、幼い娘が「折り紙で遊びたい」と言いました。「料理がくるまでの間だよ」と約束して折り紙を渡すと、娘は黄土色の紙を選び取り、ぐしゃぐしゃに丸め始めました。何を作っているのだろうと、その姿をじっと観察していると、娘が急に「父さん、はなくそ！」と大声でそのぐしゃぐしゃの折り紙を私に差し出したのです。



周囲のお客さんにクスクスと笑われて恥ずかしくなった私は、「何でそんなの作るの!!」と娘に言いました。けれども娘は、何で私（父親）にそんなことを言わされたのかが分からていません。

このやりとりを見ていた妻から「『よくできたね』くらい言ってあげればいいのに」と言わされた私は、＜確かに。そうだよね＞と反省しました。そして、娘に「ごめんね」と謝り、もう一枚折り紙を渡して「はなくそ、作ってくれる？」と頼むと、ニコッと笑って再びぐしやぐしやと丸め始めました。

この様子から、大人の視点と子供の視点の違いが分かると思います。

大人は世間体を気にすることによって、安易に子供の行いを否定してしまうこともあります。他人に迷惑をかけたわけでもない子供からすれば、何で親に否定されるのかが分かりません。

このように、自分本位な型にはまった大人の視点で子供と接していると、大事な個性を摘んでしまいかねません。だからこそ、時には子供の視点になって物事を見ていくことも大切なのです。



「子供の視点」は、私たち教員も大事にしたいことです。